



日交横浜労組
佐藤委員長



日交横浜労組
湊書記長

JR総連の熊谷政策・共闘部長は昨年の選挙について感謝の意を表し、「選挙では残念な結果となったが東洋交通労組の皆様と出会えたことが一番の財産となった。同じ公共交通機関の仲間としてライドシェア問題は絶対に阻止しなければならない。今後も更に連帯を深め様々な困難を乗り越えていきたい」と述べました。

JR総連、田城組織・政策局長は選挙についての協力と、それまでの任期6年に対しての支援に感謝の意を表しました。「昨年の参議院選挙では残念な結果となり前参議院議員となつてしまいました。『前』がつくと緑色で縁取られた議員バッジをもらい、議員会館はフリーパスで入ることができません。今後も交通政策において国政・省庁関係のパイプ役として務めていく」と述べました。



徳山課長

仲取締役

山岡取締役



JR東労組
畠山政策・共闘部長

JR総連

田城組織・政策局長 熊谷政策・共闘部長

経営からは山岡取締役・仲取締役・徳山課長にお越し頂きました。山岡取締役の挨拶では「ライドシェアに打ち勝つのは品質。日本交通の接客をお客様に提供していれば必ずこの業界が生き残っていくと信じている。経営側も必死に努力をしていくので協力してほしい」と述べました。仲取締役は「今年は『接客』と『チームワーク』の二つをキーワードに1年頑張っていく」と述べました。

全自交岩手地本から送って頂いた日本酒を組合員の皆さんに振る舞いました「とても美味しい」と評判でした



毎年恒例のピング大会も大盛り上がりとなり、今年もたくさんの組合員の皆さんが豪華賞品をゲットしました参加賞では全員に鴨川うどんが配られました



中華料理のコースは前菜・スープ・春巻き・唐揚げ・エビチリ・炒め物・チャーハン・焼きそば・杏仁豆腐どれも美味しいと好評でした



筒井副委員長が音頭をとり、三本締めで今年も新たな一年がスタートしました

統制委員会

5775 岸本和之氏の処分について

1月15日(日)のボウリング大会での危険行為、及び新年会において2名の組合員に対する暴力行為と暴言、静止した執行委員・組合員への暴言について、1月18日に緊急執行委員会を開き、後日、菊池委員長が岸本氏に事情聴取を行い、弁明を聞いた上で1月27日に処分が決定しましたので報告します。

組合規約30条

- ② 「統制、または秩序を乱し組合の名譽を毀損した者」
- ③ 「組合員としての義務を怠つた者」
- ④ 「その他、組合員として不適切な行為をした者」

- であり、6カ月間の「組合員権利停止処分」とする。具体的には、
- 組合員・共済組合員の権利は全て停止される。
- 組合の綱領・規約を遵守する義務は継続する。当然ながら、組合費・共済組合費の支払い義務は継続する。
- クラブ活動参加の権利は停止する。
- 2018年新年会の参加の権利は停止する。

2018年新年会 参加の権利停止について

- 5881 錦部恵氏 泥酔しボウリング大会を途中で放棄
 - 5895 秋山俊雄氏 泥酔し注意をした委員長に暴言を行い、新年会の来賓挨拶時に寝ていた
 - 5540 矢向和浩氏 新年会を正当な理由なく退席
 - 5356 大山清広氏
 - 5668 高橋 猛氏
 - 5700 大塚広樹氏 (共済組合員)
- 以上の3名は無届欠席者として2018年新年会参加の権利を停止します。

会場に迷惑をかけたことにより、来年度のボウリング大会は自粛することを決定しました。当日のキャンセルにおいても料金が発生していません。

新年会は『組合の旗開き』でもあり、とても重要な行事です。来賓にもお越しいただき、その年の決意を固める年頭行事として執行部もその準備には毎年力を入れています。組合員の皆さんには、組織の一員としての自覚をもって頂くようご協力をお願いします。尚、昨年の家族慰安会において無届欠席をした者も今年度の参加の権利は停止します。